

弟(秀長)、甥(秀次)、実子(秀頼)、
母、妹、妻、養子、養女——

2026 年 大河ドラマは
「豊臣兄弟！」

政権運営のカギは、
血縁や一族の存在にあった!?

秀吉と豊臣一族 研究の最前線

河内将芳＝編
日本史史料研究会＝監修

定価 1,980 円(本体予価 1,800 円 + 税 10%)

B6 変型判 296 頁 ISBN:978-4-634-15258-8 C0021

出自をめぐる論点、刀狩り・惣無事令など 政策をめぐる最新研究動向も含め、
最新研究の動向から、秀吉政権の実像を解明する

はじめに——秀吉政権の基板となった「家」の特異性 河内将芳

第Ⅰ部 秀吉は血縁をどういかしたのか

- 第一章【秀吉像の変遷】秀吉の出自はどういわれてきたのか 竹内洪介
- 第二章【秀吉の実弟】秀吉の「後継」を期待された秀長の足跡 播磨良紀
- 第三章【秀吉の甥】豊臣秀次とその弟たち(小吉秀勝・秀保)の実像 尾下成敏
- 第四章【秀吉の子】秀頼「出生」の謎と、家康との知られざる関係 平野明夫

第Ⅱ部 一族の果たした役割

- 第五章【高台院「子飼の者」】変転する豊臣恩顧の大名 水野伍貴
- 第六章【秀吉の妻たち】「呼称」からみた秀吉との関係——淀殿・松の丸殿 河内将芳
- 第七章【秀吉の養子戦略】於次秀勝・小早川秀秋・結城秀康、それぞれの処遇 光成準治
- 第八章【秀吉の養女と婚姻戦略】有力大名家を「羽柴家親類」に取り込む 柴裕之

第Ⅲ部 秀吉研究をめぐる新論点

- 第九章【天変地異と秀吉政権】二つの大地震と「怪(かい)異(い)」は社会になにをもたらしたのか 河内将芳
- 第十章【秀吉時代の金・銀・銭貨の流通】貨幣史からみた「黄金太閤」の虚像と実像 千枝大志
- 第十一章【秀吉の名字・姓】「羽柴」「豊臣」には、どのような意味があるのか 堀越祐一
- 第十二章【世界認識と対外戦略】宣教師側からみた「南蛮外交」の実像 清水有子
- 第十三章(特論①)【秀吉の政治・経済・大名統制政策】太閤検地、刀狩り令、武家官位制は
画期的な政策だったのか? 平井上敏
- 第十四章(特論②)【秀吉の軍事・外交政策】惣無事令・朝鮮出兵・豊臣水軍研究の現在 長屋隆幸

【目次】



好評既刊
(注文扱い)

戦国期足利将軍 研究の最前線

山田康弘＝編 日本史史料研究会＝監修
B6 変・256 頁 ISBN: 978-4-634-15174-1C0021
定価 1,980 円(本体 1,800 円 + 税) 刊行: 2020 年 5 月



9784634151741

ご注文冊数

冊

ご注文冊数

冊

戦国佐竹氏 研究の最前線

佐々木倫朗 千葉篤志＝編 日本史史料研究会＝監修
B6 変・336 頁 ISBN: 978-4-634-15181-9C0021
定価 1,980 円(本体 1,800 円 + 税) 刊行: 2021 年 3 月



9784634151819

冊

「室町殿」の時代 安定期室町幕府 研究の最前線

久水俊和＝編 日本史史料研究会＝監修
B6 変・352 頁 ISBN: 978-4-634-15208-3C0021
定価 1,980 円(本体 1,800 円 + 税) 刊行: 2021 年 12 月



9784634152083

冊

北朝天皇 研究の最前線

遠藤珠紀 水野智之＝編 日本史史料研究会＝監修
B6 変・288 頁 ISBN: 978-4-634-15240-3C0021
定価 1,980 円(本体 1,800 円 + 税) 刊行: 2023 年 11 月



9784634152403

冊

12
/ 11
(木)

貴店番線印

(ご担当名:)

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。



山川出版社

TEL: 03-3293-8131

※ご注文は、右記まで
FAX をお願い致します

FAX: 03-3292-6469